

質問事項	質問の要旨	質問の相手
	<p>(13) 寄附者の期待に一刻でも早く、応えていくためにも、農林振興課と商工観光課が連携・協働し、アジャイル(agile, 価値創造)思考での立案を加速化させ、丹波くり振興、とりわけ、生産振興につながるプロジェクトを前倒し展開していくべきではないか。</p> <p>(14) 笠間市においては、儲かる「笠間の栗」産地づくり推進事業と銘打ち、日本一の栗産地づくり推進補助事業として、栗の経営規模拡大、品質向上推進のため、栗生産規模拡大に係る各種費用の支援などを行っている。東の笠間、西の京丹波を目指した旗振りにあたって、また、食と農、その他産業が一体となった町独自のフードバレー構想の推進にあたって、栗に対する川上から川下までの面的支援を、可及的速やかに拡充していくべきではないか。</p> <p>(15) 本年度、丹波篠山市は、地元特産品の収穫時期などに、職員が報酬を得て、農作業に携わることができる県内初となるサポーター職員制度を新設した。町においても、地域貢献や人材育成に役立つ農業分野での公務員の副業を後押しする制度を創設してはどうか。</p>	町長 町長 町長
2 タウンプロモーションについて	<p>(1) プロモーション戦略、アクションプランの策定に向けた取り組み進捗状況は。また、2月17日まで実施した町に関するアンケートの統計処理後の分析結果は。</p> <p>(2) 町民のみなさんが誇れるまちを意識した町のブランディング、さらには、町内における価値向上だけにとどまらず、町外への町の魅力の伝播にも、重きを置いたプロモーション戦略とすべきではないか。</p> <p>(3) 庁内プロモーションチームおよび京丹波イノベーションラボのメンバー構成、ミッションと活動状況、両チーム発の構想は。</p>	町長 町長 町長
3 ふるさと納税について	<p>(1) 向こう3年度(2023～2025年度(令和5～7年度))における寄附金額などの数値指標を含むふるさと納税の目標は。</p> <p>(2) (1)の目標を達成するために、段階的に、どのようなことが必要と見積もるか。</p> <p>(3) リピーター寄附者への対策・対応を手厚くし、ふるさと納税をきっかけとした関係性の構築をいっそう深化していくべきではないか。</p> <p>(4) 町内事業者を募り、店舗型ふるさと納税導入に関する説明会を適宜、開催してはどうか。</p> <p>(5) 企業版ふるさと納税による町への寄附の趨勢と今後の方策は。</p> <p>(6) 寄附につなげる SEO(Search Engine Optimization, 検索エンジン最適化) 対策として、これまで、行ってきたことと来年度に向けて、検討していることは。</p> <p>(7) ふるさと納税に関わって、とりわけ、CVR(Conversion Rate, コンバージョン)、CPC(Cost Per Click, クリック単価)あるいは CPA(Cost Per Acquisition, 顧客獲得単価)、さらには、ROAS(Return On Advertising Spend, 広告の費用対効果)などから把握した SEO 対策のパフォーマンスとして、特筆すべき点はあったか。</p> <p>(8) 食のまち 京丹波および京丹波ブランドの確立・定着ならびに町の魅力浸透、知名度向上に寄与していくためにも、SEO 対策を継続的かつこれまで以上に積極的、発展的に講じていくべきではないか。</p> <p>(9) 用途指定にもとづいた翌年度以降の財源充実に際して、ふるさと納税として、寄附いただいた額の①全額を、基金に積み立てている市町村もあれば、例えば、②一般会計歳入歳出予算で定める額とするなどと規定し、返礼品等の経費を差し引いた金額を、基金に積み立てている市町村も確認できる。なお、【別表】からも読み取れるように、町の寄附金額を上回る類似団体(類型:町村Ⅲ-1)においては、②の基金積立方式が多数を占めている。さらなる寄附拡大を標榜するにあたって、将来的な移行も選択肢に入れつつ、ふるさと応援寄附金に係る基金積立の考え方・手続きについての調査研究分析を練磨しておくべきではないか。</p>	町長 町長 町長 町長 町長 町長 町長 町長

1 質問の要旨は、具体的に記載する。

2 質問の相手は、町長、行政委員会の長、または監査委員とする。